

科目名	管理会計論	科目コード	1468	単位数	3
担当者名	橋元 理恵	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

● 授業のねらい

管理会計（management Accounting）には、組織の計画(planning)と管理(control)に関する諸活動に役立つ情報を提供するとともに、これまで実施した経営の計画や管理が適切かどうかを診断し、より望ましい方向を示すという機能があります。

この講義では企業のケースを交えながら、経営の現場で管理会計の活用されている実情を学び、経営を会計から捉える能力を身につけます。

● 到達目標

- 1.実際の企業の経営活動において、ケースを交えて管理会計の活用方法を理解、習得できるようになる。
- 2.管理会計の活用ケースを自ら見出し理解し、そのケースを自らのことばでプレゼンテーションし、他者に理解してもらい能力を身につける。

● 授業内容

- 1週目 イントロダクション
 - 2週目 CVP分析
 - 3週目 予算管理
 - 4週目 業績評価
 - 5週目 標準原価計算
 - 6週目 理解度確認テスト：2週～5週分、
解答・解説、質疑応答
 - 7週目 原価企画
 - 8週目 ABC・ABM
 - 9週目 ミニプロフィットセンター
 - 10週目 SCM
 - 11週目 理解度確認テスト：7週～10週分、
解答・解説、質疑応答
 - 12週目 品質コストマネジメント
 - 13週目 ライフサイクルコストニング
 - 14週目 環境コストマネジメント
 - 15週目 テスト、総括
 - 16週目 まとめと討議。
- 但し、やむを得ず15週目までの授業内容を実施できなかった場合には補講授業を行います。

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・授業は配布するレジュメに基づき進めます。
- ・管理会計論 で学習したトピックスについては、各回30分程度の予習をしてください。
- ・各回90分程度の復習で講義内容をノートにまとめる等で授業の理解を深めてください。
- ・提示した課題は必ず取り組むこと。
- ・レポート課題についてはCourse Powerを通じて行います。

● 成績評価の方法・基準

授業への参加（出席ではなく、授業での発言、発表など積極的に参加しているか）（20%）、理解度確認テスト・レポート（45%）、期末テスト（35%）で総合的に評価します。

● 履修上の留意点

- ・毎回新しいトピックスについて学びます。遅刻をすると授業内容の理解が難しくなりますので、遅刻はしないでください。
- ・授業4回毎に理解度確認テストを実施しますので、毎回の復習はしっかり行ってください。
- ・授業中は質疑応答や議論も行いますので自身の考えや意見を述べ積極的に授業に参加してください。
- ・授業中はスマホの利用をしないでください。スマホを机の上に置くことも禁止します。
- ・授業中の飲食も禁止します。

新型コロナウイルスの感染状況により対面授業が難しい場合はCourse Power、Zoomなどを利用した遠隔授業を行います。パソコン環境の整備をしてください。

● 課題に対するフィードバックの方法

- ・理解度確認テストの後で、解答と解説を行います。理解度確認テストを受験するだけでなく、必ず解答と解説の時間も受講し各自自己採点をして自らの学びについての自己点検をしてください。
- ・提出されたレポートはコメントをしてフィードバックします。

● テキスト

レジュメを配布します。

● 参考書

- ・加登豊、梶原武久『管理会計入門』第2版日経文庫（日本経済新聞出版社）1,100円
- ・その他参考資料は授業で適宜紹介します。

● 更新日付

2022/02/04 12:35